自尊と敬虔

和木中学校だより　第２５６３号

令和８年８月３日（月）

〒740-0061　和木町和木２丁目５番２号

TEL 52-4328　FAX 52-5265

和木中 Web ページ https://www.sky.icn-tv.ne.jp/~waki-jhs/

１学期前半、保護者や地域の皆様にお世話になった活動です。写真にはありませんが、保護者や地域の方の中には、ボランティアで校庭やグラウンドの草刈りをしていただいた方もおられます。暑い中、本当にありがとうございました。後半の活動は９月号でお知らせします。



あいさつ運動（町教委）



参観日



あいさつ運動（民生委員）



除草作業（民生委員）



キャップ回収説明（役場）



防災避難訓練

何のために「生きていく」のか？

◇１年生：「学ぶ」とは？

～教室での学びと野外活動（グリーンスクール）での学びの共通点～

〇知らなかったことを知ったり、分からないことを学んだりする。大人になったときに役立つ。試験とかに行って大学とかに行けるようにするため。社会に必要だから。

〇仲間がいること。意見を出さないと進まないこと。空気を読むことが大切だということ。感謝を忘れないこと。自分の将来に必要なことが学べること。

〇「学ぶ」とは大人への階段へ一歩ずつ上がるものだと思います。学ぶの中には勉強、人間関係などさまざまなものが入っているけれど、私は野外活動を通して今一番学ぶべきは人間関係なのではないかと感じました。勉強はもちろん学生の本業ではあるけれど、今学生の時に人間関係を学んでおかないと大人になった後苦労するなと思いました。実際、私は野外活動でも意見が食い違ったり、普段の生活でも友達と喧嘩をしたりするけどそこで自分の意見を押し付けるのではなく一つの案として出してみたり、喧嘩をしても「次はこうする」や「ああする」などと自分で考えて学ぶ事で大人への階段を一歩ずつ上がっていくのではと思います。

◇２年生：「働く」とは？

～民泊体験でお世話になった、受入家庭や役場職員の方々の姿から～

〇みんな社会のために一生懸命働くことによって、これからのみんなの社会や次につなげていくことが分かった。

〇働くとは､私は生きていくために必要なことだと思います｡単純にお金のためでもありますが､最近､人のために働く人を見て少し考え方が変わりました｡私は働くとき､お金のためだけじゃなく相手に喜んでほしいと思いながら働きたいです｡
〇自分のスキルや得意なことを活用して人の役に立つことだと思います。けれど全員が自分のスキルを生かすことはできないかもしれないから、苦手なことも働くうえでやっていかないといけないと思います。
〇私は民泊でお世話になった方々の姿から「働く」とは､「誰かの役に立つ、人のために行動する」などを思いました。分からないときに助けてくれたり楽しく過ごすことができました。「働く」とは大変なこともあると思うけれど相手を支えたり､その人の気持ちをよく考えることが大切だと感じました。
〇民泊で農業体験をして最初は簡単だと思っていたけど２０ｋｇの土の袋を何回も持ち上げてプランターの中に入れる作業はすごく大変です。これを毎日二人でやっていると思うとすごいなと思いました。働くのを見て簡単そうでも実際はどんな仕事でも大変だと気づきました。
〇働くのはとても大変なことだと分かった。でも､みんなのために働くと疲れるけど達成感があることがわかった。だから、一生懸命働いて役に立てるようになりたい。

◇３年生：「働く」とは？
～修学旅行でお世話になった、旅行会社や宿泊・見学施設等で働いている方々の姿から～
〇私は修学旅行で自分の思いや都合に関わらず、左右されずに自分の仕事を全力でこなしている方々をたくさんみました（キャストさんやホテルの方など)。ただ、働くだけでなく、全力で働く人はかっこいいなと思いました。「働く」とは生きるために必要な術だけれど、全力で生き生き働けるようになりたいなと思いました。
〇働くとは自分が生きていく上で絶対とおる道のことです。旅行会社の人たちは予算の中で楽しめるように考えてくれて、宿泊の人たちはいろいろ準備してくれてご飯や部屋の準備をしていた。裏ではたくさんの人たちが準備をしてくれたから楽しめた。だから働くのが大事になっている。
〇ＵＳＪだといつどんな時でも笑顔でいてくれて心配が一つもない楽しい時間にしてくれて、京都のお店でおばあちゃんが優しく京都の良さや行くと良い場所などを教えてくれて、奈良ではガイドさんが迷子にならないように場所が分かりやすいように教えてくれながら楽しい時間になり、ホテルでは１日１日ベッドと部屋の掃除をしてくださり自分達が見えていない場所でも見える場所でも安全を優先して安心して楽しめる場を作ってくれてたから、学校で誰かが見てなくても頑張りたい。
〇仕事に対して責任感を持ってまじめに取り組むことを心がけること｡ユニバのキャストの方々は､質問すると明るく笑顔で道を教えてくれたり､行ける所まで案内してくれたりと、サービスがとても手厚いと思った｡私たちの目に見える所で働いている人もいれば､私たちが見えないところで私たちの想像以上にたくさんの人が動いていて、私たちを支えてくれている事ばかりだと思いました。修学旅行に行った事で、働いている大人や先生の大切さがよく分かりました。
〇バスに乗る前、私たちに話しかけてくれたバス停にいた運転手のような方が簡単に行けるバスを教えてくれました｡運転するだけでなく､周りの困った人を助ける余裕を持っていることが修学旅行で学んだ働くことだと思います。